

広島大学短期交換留学プログラム 派遣留学報告書
HUSA (Hiroshima University Study Abroad) Program Report

記入日/Date 2024年3月5日(YYYY/MM/DD)	
ふりがな 氏名/Name	学生番号/Student ID
本学での所属学部・研究科 School/Graduate School at HU	文 学部/研究科 3 年次(Year) School/Graduate School (留学開始時点(When Started))
派遣プログラム Name of Program	■HUSA □USAC □UMAP
留学先大学 Host University	シェフィールド大学 (国名/Country: イギリス)
所属学部・学科等名 School/Graduate School at Host	Department of Archaeology
在籍身分 Status at Host University	Exchange Student (ex. Exchange Student, Special Auditing Student)
留学期間 Period of Program	2023年9月25日 ~ 2024年2月3日 (YYYY/MM/DD) (YYYY/MM/DD)

1. 留学するまで / Preparation for the Program

留学への志望動機・ 派遣先大学を希望した理由 Purpose of Study / Reason of Host Choice	<ul style="list-style-type: none">専攻分野の研究が進んでいるため。専攻分野における英語運用能力を向上させるため。新しい価値観を身につけるため。
留学準備を始めた時期 (応募する 何か月前ですか?) Commencement of Preparation for Application	大学入学前から留学を志しており、大学1年の頃から GPLP の科目を受講したり IELTS を受けていました。 具体的に留学先を選んだり、応募書類を用意し始めたのは HUSA 締め切りの 3 か月前から。
事前準備について(どのような準備 をしたか、しておけばよかったか) Preparation Completed Prior to Study Abroad	英語の必要条件スコアをと取るのにお金と時間がかかったため、早めに勉強を始めることをお勧めします。また、英語試験(IELTS)や様々な奨学金制度、留学先の大学ホームページ、HUSA 提携校が募集している学部 (希望する学部が募集されているか) など、早めに目を通しておくべきです。 大学1年から知識をつけたりすることが大事だと思います。

2. 渡航について / Visa and Flight Information

ビザについて Visa	ビザの種類 / Visa Type : なし ビザ申請先 / Location of Visa Application : 提出書類 / Required Documents : 手続きに要した日数 / Duration of Visa Application Process :
その他必要な事前手続き Other Required Procedures	
出国年月日/ Date of Departure	2023年9月7日 (YYYY/MM/DD)
経路(往路) / Route (Outward)	広島空港→羽田空港→ヒースロー空港→キングスクロス駅→シェフィールド駅
現地での出迎え Pick-up Service	□有/Yes (大学関係者/Univ. Staff ・ その他/Others) ■無/No

到着後オリエンテーションの有無・期間・内容 Orientation, Period, Contents	<input checked="" type="checkbox"/> 有/Yes	有の場合 期間/Period : <u>2023/9/11</u> - <u>2023/9/15</u>
	<input type="checkbox"/> 無/No	(If Yes) 内容/ Indicate Content Covered during Orientation 連日9時から21時頃まで様々なゲームやセッションがあった。いずれも参加は自由。
帰国年月日 / Date of Return	2024年 2月 9日 (YYYY/MM/DD)	
経路(復路) / Route (Return)	シェフィールド駅→キングスクロス駅→ヒースロー空港→羽田空港→広島空港	

3. 留学費用について / Expenses

文 額 / Expenses	総額 Total Amount	約140万 円/yen	
	内訳 Details	渡航費(往復) / Flight Ticket (Round Trip)	300,000
ビザ申請手数料/ Visa Application Charge		0	円/yen
予防接種費用 / Immunization Charge		50,000	円/yen
保険料 / Travel Insurance		51,360	円/yen
教材費(授業料以外の学費) / Learning Material (Extra Tuition Fee)		130,000	円/yen
宿舍費(住居費) / Accommodation Fee		570,000 (光熱費込み)	円/yen
光熱費 / Utility Cost		0	円/yen
食費 / Meal Cost		30,000	円/yen
通信費(インターネット・携帯) / Internet, Phone		10,000	円/yen
交通費(宿舍-大学間) / Transportation (Accommodation ~ Univ, Campus)		0	円/yen
交際費 / Social Expenses		50,000	円/yen
その他 / Others (旅行 費) (衣類・布団類・調理器具 費) (費)		150,000 30,000 円/yen 円/yen	

4. 授業・修学について / Courses and Study

授業の概要について(カリキュラム, プログラム, 履修した科目, 時間数, 履修形態等) / Brief Description of Courses (Curriculum, Program, Registered Courses, Study Hours, Course Style)	<p>① Decoding the Landscape: integrated methods in landscape archaeology /講義・フィールドワーク</p> <p>② Egypt in the Age of Empire /講義・セミナー</p> <p>③ The Aegean in the Late Bronze Age /講義・セミナー</p> <p>以上、合計3科目(ECTS 30 credits)を履修した。</p>
単位互換希望の有無 / Credit Transfer from Host to Home University	<input checked="" type="checkbox"/> 有/Yes <input type="checkbox"/> 無/No
授業・勉強についてのアドバイス(留学前の履修, 留学中, 単位取得等) / Advice for Class and Study (Before and During Study Abroad)	<p>留学前: 日常で使われるようなイギリス英語は</p> <p>留学中: 各講義前に読む必要がある文献量はかなり多いので(しかも英語で未知の専門用語多数)、早めに予習に取り掛かりましょう。</p>
日本と異なる授業形態などにおける困難や挑戦(ティーチングスタイル・先生と学生の関係性など) / Difficulties and Challenges Faced in Classes Different from Japan (Teaching Style,	<p>☆「セミナー」という授業形態について</p> <p>提示されたトピックについて予習し、文献の内容を踏まえてディスカッションをするのですが、たとえ文献の内容を理解していても、他の学生や教員の英語が速すぎて聞き取れず授業についていけない事がありました。</p> <p>1か月ほど経ったら焦らずとも耳が慣れてくるので、諦めないでください</p>

(4) 食生活についてのアドバイス / Food – Related Advice	
イギリスの外食費は日本の約2倍で高いので、基本的に自炊をすることになると思います。スーパーの食材（肉・野菜・果物など）は日本より安いものが多いため、手に入れやすいです。シティセンターのSainsburyに行ったり、週1で格安スーパーのAldiに行ったりすれば節約にいそむことができます。また、アジアスーパーも複数あるので、現地でも米や基本的な調味料は手に入れることができます。米以外は物価が非常に高いですが……。	
(5) 気候・服装についてのアドバイス / Advice on Local Climate and Clothing	
イギリスに着いたのが9月上旬だったが、気温が30℃で半袖がもう1着必要だと感じました。数日後には20℃を下回る気温になり、ウィンドブレーカーやニットを着る必要があるほど寒くなっていったので、気温の変化には注意してください。秋・冬になると雨が多くなり、いちいち傘を指すのが面倒になってきたので、現地の学生同様にウォータープルーフの上着（ダウン）を着て過ごすようになりました。必要に応じて雨靴も買った方が良いでしょう。	
(6) 学内外の施設・設備環境について（インターネット環境含む） / Available Resources (Library, Cafeteria, Campus Wi-Fi, etc.)	
大学の施設（講義棟や学生寮、図書館など）では無料のキャンパス Wi-fi が使えます。個人やグループで自習できるスペースが多く、24 時間利用可能な施設もあります。カフェも建物内にあるため、授業後に友人や教授	
(7) 現地学生や地域との交流について（どのような、機会・きっかけがありましたか？） / Communication with Local Students and People (Available Opportunities?)	
Japan Society に入り、週1で また、学部においても授業あとやグループワークの一環でクリスマス会や	
(8) 習慣やマナーの違いによる対人関係等、注意すべきこと / Care and Attention regarding Customs and Manners	
(9) 日本から持っていくべきもの、持っていくべきでないもの / What Should You Bring? What Should You NOT Bring?	
持っていくべきもの：日本食（お菓子やみそ汁のもととか）、部屋用スリッパ、海外 SIM カード、1 週間分の衣類・洗濯洗剤・シャンプー、衛生用品、常備薬。 持っていくべきでないもの：	
(10) その他生活等に関して参考となる情報・アドバイス / Other Useful Information and Advice about Life Abroad	

6. 帰国後の進路について / Your Career After Study Abroad	
卒業予定年月 Expected Graduation Month and Year	2025 年 / year 3 月 / month (当初の卒業予定年月 / Expected Month and Year before Studying Abroad 2025 年 / year 3 月 / month)
卒業が遅れる見込みの場合、その理由 Reason for Extension of Graduation Month and Year?	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため / Participation in HUSA during 4th Year <input type="checkbox"/> 単位不足のため / Amount of Credits <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため / In order to graduate as a “new” graduate <input type="checkbox"/> その他 / Others (具体的に / Specific reason:)

現在の状況および今後の予定・進路等 Current Situation, Plan and Career	大学院に進学する予定である。
就職活動や留学前の単位取得、教育実習等についての工夫 Pre-arrangement by yourself for your future job hunting, acquisition of credits of required courses and practicum, etc.	留学先で単位の取得ができるか不安だったので、2年次から他分野の講義を含め、多く履修し、単位互換せずに済むくらいの単位数を取得していました。 また、副専攻プログラムとして学芸員資格プログラムに登録していましたが、3年後期の「博物館実習1」が履修できないため、大学院課程にて履修しようと考えております。

7. 留学準備、留学中に役立った書籍、ウェブサイト等 / Useful Books and Website for Study and Life Abroad

書籍、サイト名 Name of Book or Website	詳細（出版社、URL 等） Details (Publisher, URL etc.)	コメント Comments
note (ブログサイト)		留学生活に関するブログはかなり参考になる
Trainline (アプリ)		イギリスの電車は乗車前にアプリ等で切符を買う必要あり

8. 後輩へのメッセージ / Message for Outgoing Students who Desire to Study Abroad

イギリスへの留学は、求められる英語試験のスコアや費用の面からハードルが高いように思われますが、学内の英語力支援プログラムや民間の奨学金制度を利用することによって、負担はかなり減るかと思います。

また、実際に現地で半年弱生活することにより、見えるもの聞こえるものが全て英語であったり、どんなに困難な状況でも英語を使うしかないという環境に身を置いたりすることで、必ず成長に繋がります。何よりも、学校や英語試験に向けて勉強してきた英語がいかに違うのか痛感させられます。ぜひご自身でその衝撃を受けてください。

最後に、留学に行かれる際には目的意識を持って生活を送ることが大切です。時間とお金のかかる経験だからこそ、悔いのないよう最大限に機会を活用してください。

9. 自由記述（日本語・1,200字程度）/ Feedback (English about 600 words)

留学を終えて

今回のイギリス留学は、私にとって初めての海外経験でした。想像していたとおりわくわくする瞬間が何度もあった一方、自分の英語力の低さを痛感する場面もありました。留学中に経験した出来事は帰国してもなお覚えているもので、この5ヶ月間に一生ものの経験をしたのだと改めて実感しています。

また、留学中の出来事もそうですが、留学前の出来事も印象強く残っています。もともと留学に対し、健康面や金銭的な不安が強かったのですが、家族や専攻分野の教員、友人など多くの人々のお言葉や支えがあってようやく留学への覚悟が決まりました。

特に、英語の試験、奨学金の申請手続き、必要書類の準備など慣れないことが多かったのですが、普段からご指導いただいている専門分野の先生方や学内の留学支援機関など、周囲のサポートがあったことで準備を進めることができましたと思っています。また、中学の頃から英語が好きで、留学への憧れが強かったからこそ「5ヶ月間精一杯やってやろう」という意志を持って現地です生活することができました。

結果として、シェフィールド大学で考古学の講義を受講するだけでなく、講義後や休日には考古学専攻で仲良くなった友人と出掛け、先生方主導のフィールドワークにも参加させていただいたこと、また、他国からの留学生と一緒に徹夜でセミナーの準備をしたこと、Mountaineering Societyの合宿に参加して初めて雪山に登ったこと、Japan Societyで出会った友人とパブで一緒に飲んで夜遅くまで盛り上がったことなど、現地でしかできないような貴重な経験をすることができたと思います。



考古学専攻の学生との写真（2023年12月）



フィールドワーク（踏査）での写真
（2023年9月）

最も印象に残った出来事

最も印象に残ったのは、景観考古学の講義の一環として実際に踏査（フィールドワーク）に参加させていただいたことです。日本から持参した登山装備や考古学の実測道具を携えて、Public Archaeologyを専門に研究されている先生と地元のパランティアの方々と一緒に2ヶ月間、現地でロックアート（先史時代に岩に施された線刻）の分布調査を行いました。設定された調査区域を対象に踏査を行い、ロックアートがみられる岩の写真撮影や実測、ロックアートが確認された地点の計測を行いました。現地での調査後、フォトグラメトリという先進技術を活用してロックアートを3Dモデル化し更なる分析を試みました。また、GISを用いて地理的環境と遺構の分布との関係を分析し、景観考古学の視点から調査対象の遺跡におけるロックアートと位置づけについて考察を行いました。

景観考古学的手法や、一般の方々と協働して調査するPublic Archaeologyの実践というのはイギリスで学びたかったことの一つであったので、非常に印象に残っています。体力的にも大変な調査でしたが、やり切った時の達成感は大きかったです。

調査中のコミュニケーションについても、最初は現地の方が話す英語の聞き取りに苦労しましたが、不明な点は質問し、めげずに参加し続けたことで次第に作業自体や英語でのコミュニケーションにも慣れていくことができました。

今後に向けて

今回の留学により、日常会話としての英語力のみならず、専門分野における英語運用能力もまた向上させることができましたと感じます。今後は、この語学力を活かしながら変わらず英語の論文や海外の調査技法についても学びを深め、日本の考古学でまだ浸透していない、フォトグラメトリやGISを用いての研究も行っていきたいです。さらに将来、文化財保護の仕事に就く際には積極的に英語での情報発信も行き、より多くの人々に文化財の重要性を伝えていく活動をしたいと考えています。

